

東北地方太平洋沖地震

市民の皆様へ（ご協力をお願い）

3月11日（金）に発生いたしました東北地方太平洋沖地震により、尊い命を失われました方々に謹んでお悔やみを申し上げますとともに、被災をされました方々に心よりお見舞いを申し上げます。

今なお、多くの方々が行方不明・安否不明となっております。厳しい状況の中で、人命救助に当たられております関係者の皆様、また、福島原子力発電所の事故におきまして、事態を收拾すべく、命がけにより活動いただいております自衛隊・消防・警察・東京電力の関係者の皆様には、心より敬意を表するとともに感謝を申し上げます。

また、大地震発生直後、停電の影響によりJR宇都宮線が不通となったことに伴い、乗客の方々を安全に避難させるための自治会公民館等のご提供や災害状況の調査、市からの連絡等にご協力をいただきました自治会長をはじめとする地域の皆様に厚く御礼を申し上げます。

現在、電力の供給不足が懸念されることから、東京電力による計画停電が実施され、また、ガソリン等の燃料や生活必需品が不足する状況下におきまして、市民の皆様には、大変ご不便・ご迷惑をおかけしていることと思っております。

しかしながら、被災地では、私たちが想像できないほど困難な状況にあり、復興の目途さえ立っていない現状であります。



プールの天井が崩落したふれあい館

このような時こそ、国民全体で協力し、支え合うことが重要であります。

そのため、被災地の方々の非常に厳しい状況をご理解いただき、徹底した節電と燃料・生活必需品等の買占めをされないようご協力をお願いいたします。

また、被災された方々を支援するため、市役所各庁舎、ゆうゆう館、きらら館、ふれあい館のそれぞれ窓口に募金箱を設置しておりますので、温かいご支援をお願いいたします。

なお、義援金の名目を悪用した“振り込め詐欺”の報道もあることから、市民の皆様にはご注意されますよう併せてお願いいたします。

最後に、今後につきましても、最新の情報収集に鋭意努めながら、随時、情報を発信してまいりますので、市民の皆様には、冷静に行動いただきますようお願いいたします。

平成23年3月22日

下野市長 広瀬 寿雄

地震の概要と市の被害状況等

3月11日（金）、午後2時46分三陸沖を震源とするマグニチュード9.0の国内観測史上最大の巨大地震が発生、北日本から関東にかけて強い揺れと津波が襲いました。気象庁によると宮城県で震度7、仙台市など宮城県各地、福島、茨城、栃木各県で震度6強を記録しました。

下野市においても、国分寺庁舎、南河内庁舎、石橋庁舎とも震度5強となりました。

被害の主なものとしては、国分寺中学校で20名の負傷者、公共施設の被害としては、国分寺中体育館天井ボードの落下、ふれあい館プール天井ボードの落下、ゆうゆう館玄関付近屋根瓦の一部落下等があります。

また、一般の被害としては、塀の倒壊、屋根のぐしの崩れ等が多くみられました。

避難所は、国分寺公民館他8か所に設置し、市民はじめJR宇都宮線利用者の帰宅困難者、また福島からの避難者の、受け入れを行いました。

●問い合わせ先
生活安全課 ☎(40)5555